

◎ 算数・数学部門

1 行事及び内容

(1) 研究委員会

- ア 第1回 6月 2日(火) ①今年度の研究の進め方 ②年間事業計画
- イ 臨時10月13日(火) ①研究大会計画
- ウ 第2回 2月15日(月) ①今後の研究の進め方 ②年間事業反省

(2) 研究の実際

ア 全体研究

(ア) 研究テーマ

「9年間で育成する数学的な思考力・表現力等を育む授業の工夫・改善」
～算数的活動・数学的活動の充実を通して～

(イ) 研究の組織及び内容

○実行委員会

・研究大会に向けての運営，内容等の協議

○定例会（小学校），運営委員会（中学校）

・研究大会及び総会の運営，内容等の協議 ・研修会の内容協議，実施
・県小学校算数教育研究会，県中学校数学教育研究会報道

○全体研修会

・夏季研修会の実施 ・冬季研修会の実施

○総会

・郡市中学校数学研究会の運営及び予算に関する事項の協議・決定
・県中学校数学研究会報道

イ 天草教育研究所算数・数学部門夏季研修会

（8月3日，於：天草教育会館）

(ア) 開会行事

(イ) 模擬授業 小学校1年「ひきざん（2）」 松本 卓士 教諭（上天草市立中南小学校）

(ウ) 講演 「算数学び合い授業の創り方・進め方」

講師 熊本市教育センター所長 宮本博規 先生

(エ) 閉会行事

2 本年度の成果と課題

算数・数学部門では，小学校の会員の先生方が参加しやすいように，夏季研修会を開催した。当日はおよそ70人の参加があり，模擬授業では小中学校双方の視点から，多くのご意見をいただくことができた。その後も，県小学校算数研究大会の研究授業に向けて，小学校の指導案検討会に中学校からも参加し，小中連携を深めることができた。来年度の研究大会では，小学校1本と中学校1本の研究授業を行い，それぞれの授業を小学校，中学校両方の教師が参加し，小中連携して授業づくりに行っていくことを決定した。小中連携をさらに進め，中1ギャップを少しでも解消していきたいと考える。